

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	郷土学館備品購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美瑛町		
交付金事業実施場所		上川郡美瑛町栄町4丁目		
交付金事業の概要		郷土資料、天文台及び体験学習室等を活用した学習の場を町民に提供するため、平成28年度より新たな施設として、「美瑛町郷土学館」を整備し、電源立地地域対策交付金を活用して施設備品の整備を行います。 (台長用収納棚・デスク・サイドワゴン、イス、テーブル、ブラインド、シューズボックス、ベンチほか一式)		
総事業費		交付金充当額		4,500,000
		5,508,000	うち文部科学省分	
		うち経済産業省分		4,500,000
交付金事業の成果目標		美瑛町民にとって郷土への理解と愛着を育むことは、いきいきとしたまちづくりを实践する上で重要です。「美瑛町における美瑛人のための学び」を实践するために、「美瑛学」というキーワードのもと、美瑛町の歴史や文化、自然環境などについて多くの町民が学習できるような機会の提供が必要です。そのため、本交付金を活用し、平成28年度にオープンする「美瑛郷土学館」の施設備品を整備することで、町民の学習機会の向上を図るとともに発電用施設の設置及び運転の円滑化のため、地域の理解を促進していくこととします。		
交付金事業の成果指標		本交付金の成果目標を達成するため、美瑛町郷土学館の備品整備費用の一部に交付金を充当し、町民の学習機会の向上を図る指標として、年間利用者数を約10,000人と設定します。		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、美瑛町郷土学館の備品を整備し、平成28年7月に郷土学館をオープンすることができました。平成28年度においてはオープン以降約9月間で10,000人の利用があり、町民の学習機会の向上を図るとともに、発電用施設に対する地域理解の促進につながったものと評価しています。今後も引き続き本設備を活用し、町民の学習機会の向上や地域理解の促進を図ります。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
郷土学館備品購入		指名競争入札	有限会社 エコテック	5,508,000
		計		5,508,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無し	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度   該当なし	

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。